

TEAM MYODEN



市川市立妙典中学校 生徒指導だより 令和6年11月1日 第7号

教育目標：未来を拓く妙典中学生＜明るく・正しく・美しく＞

目指す生徒：◎ふれあいを大切にする生徒 ◎進んで学ぶ生徒 ◎頑張りぬく生徒

◎あなたは どう 思いますか？

先日、マンションのごみ捨て場に、ダンボールが捨ててありました。そのマンションでは、ダンボールを捨てるのは毎週土曜日で、私が見かけたのは木曜日でした。私は、そのダンボールを見て、ちょっと嫌だな……。と思いました。みなさんは、決められた日ではない日に捨てられたごみを見て、どのように思いますか。

◎ルールとは何のためにあるのか

物事の感じ方は、人それぞれで少しずつ違います。それは、同じ立場でも違いますし、立場が違えば大きく違うこともあります。

ですから、自分にとっては些細なことや、問題のないことでも、ほかの人から見ると、我慢ならないことや、大問題だと思えることはよくあります。

そこで、感じ方の異なる私たちが、互いに嫌な思いをしないために守る共通の価値観が、ルールというものです。



*楽しいことを一緒に「楽しい」と感じる人（左）もいれば、「なんでそんなことをするの!？」と感じる人（右）もいます。

ルールを守ることは、相手や周囲への配慮にもなります。「このくらいいいかな」と思うとき、その先にいる友達や、クラスメイト、あなたの行動を見る人々が、どのように感じるのかを想像してみましょう。

◎ダンボールはどうなったか。

学校で仕事をしていると、ぽつぽつと雨が降り始めました。次第に雨が強くなり、家に帰ってからゴミ捨て場を見ると、雨によってドロドロに崩れたダンボールが散乱していました。このダンボールは、だれが片付けるのだろう。住んでいる者としていやな気持ちになるのはもちろん、たとえば回収業者の方はもっといやな気持ちになるだろうなと思った出来事でした。

ダンボールを捨てた人は、「たかが2日」「どうせ回収される」と思っていたかもしれませんが、さすが、決められた日に捨てていけば、住民も、回収する方も、いやな思いをせず済んだと思うと、「たかが」「どうせ」に残念な気持ちになってしまいます。ちょっとしたことでも、視野を広く持ち、ルールの意味を考えて過ごしたいですね。

◎妙典中の取り組みを

小学校に紹介しました！

オレンジリボンキャンペーンへの協力ありがとうございました。今後、事後アンケートを実施しますので、引き続き協力をお願いします。

さて、各委員会、そしてみなさんの取り組みの様子を、新聞委員が校内新聞「妙典タイムズ」にまとめてくれました！

「妙典タイムズ」は近隣の小学校、幼稚園にもお届けし、妙典中のオレンジリボンキャンペーンの様子を紹介しました。

これからも、地域の幼稚園生、小学生の手本となる先輩としての姿を見せていきましょう！

◎防寒着について

10月の半ばから急激に気温が下がり、セーターやコートなどの防寒着を着用する姿をよく見かけるようになりました。妙典中では、コートの代わりに、部活動のウィンドブレーカーやベンチコートなどの着用も認めています。市販のものを着用する場合は、派手なものを避けましょう。

◎公共の場での過ごし方

10月は、公園での過ごし方など、公共の場での過ごし方について何度か校内放送等で注意を促しました。みなさんが理解し、行動してくれていることを喜ばしく思います。

その中で伝えきれなかったことや、なぜ注意することになったのかについて、お話します。

◎公園での遊び方

公園での遊び方を振り返ってみましょう。

①ボールをフェンスや物に当てていませんか。

>ボールをフェンスに当てると、大きな音がして騒音などの迷惑がかかります。また、公園にあるものはすべて公共の（みんなの）ものです。ボールなどを当てることで、壊れてしまったり、汚れてしまったりするかもしれません。ぶつけることのないように注意しましょう。

②必要以上に動き回るなど、危険な遊び方をしていませんか。

>ボールを思いきり投げたり蹴ったり、全力で走り回ったりなどしていませんか。もし、同じ公園で遊ぶ小さい子どもや小学生などにぶつかったりしたら、どうなってしまうでしょうか。実は、周りが怖い思いをしているかもしれません。その場所にあった遊び方を考えましょう。

◎道での振る舞い

妙典中学校の周りには、徒歩の人のための歩道と、自動車や自転車のための車道があります。様々な人や車が通行する道での振る舞い方を考えてみましょう。

①道をふさいでいませんか。

>ついおしゃべりをしながら、横並びになってませんか。気づかないうちに、急いでいて後ろから追い抜こうとする方や、向かいから来た方が不便な思いをしていることがあります。周りへの配慮を忘れずにしましょう。邪魔になってしまったなというときには、「すみません」と言って、道を譲れるといいですね。

②車道を渡るときに周りが見えていますか。

>道を渡るとき、必ず左右を確認し、車が来ていないことを確かめて渡りましょう。また、車道をゆっくり渡っていたり、車道にはみ出して歩いたりしている姿を見かけます。渡るときは速やかに渡り、通行は必ず歩道を歩きましょう。

◎ルールだけでなく、周囲への気遣いを大切にしよう

公園や学校など、みなさんが生活するあらゆるところにルールがあります。ルールを守ることはもちろんですが、なぜそのルールがあるのかを考え、“ルールだから守る”というのではなく、周りのこともよく考えて行動して、“意識せずともルールを守っている”ような生活を心がけましょう。